

8 がっひかりごう

令和 2 年 8 月 1 日 輝保育園

ようやく梅雨も明けを迎えられそうです。前月は、気温が上がらず、楽しみなプールにも入れずにいましたが、今月は、存分に遊び、水と仲良くなりたいです。プール遊びを通して、着替えや、持ち物の管理等が充実してきます。降園後、「水着を洗濯かごに持っていく」等、子どもが出来る事をご家庭でも取り組んでみて下さい。習慣となり、自信にも繋がる事でしょう。



【【 水 の 事 故 】】

こ自宅で、水遊びやプール遊びをしたり、汗をかいてシャワーを浴びる事が多い季節です。

水のある場所では、子どもから目を離さず、しっかりと付き添って下さい。

わずかな水でも溺れる事があります。

十分に注意して、楽しい時間を過ごして下さい。

★ お 盆 ★

お盆とは、先祖の精霊を祀る期間のことを意味します。

お盆では、先祖の精霊を迎える「迎え日」、精霊が家庭で過ごす「中日」、精霊を送り出す「送り日」に分けられます。

先祖を敬い、家族を大事にする日本の伝統を受け継いで、お盆の時期を過ごしたいものです。



= 8 月の行事予定 =

7 日（金）避難訓練

13 日（木）
14 日（金）
15 日（土）] お 盆

21 日（金）身体測定・誕生会

== ナース・レポート ==

【日本脳炎と予防接種】

本格的な夏を迎え、それと共に蚊のシーズンも到来しました。

我が国には 130 種ほどの蚊が生息し、うち約 10 種が吸血の際に日本脳炎や登革熱、マラリアなどの原因となるウイルスを媒介します。

ウイルスを媒介する約 10 種のうち、日本脳炎を媒介するコガタアカイエカは、水田・用水路などを好んで産卵し、九州・沖縄地方は地域危険度が高いとされている区域です。

日本脳炎は、蚊が媒介する日本脳炎ウイルスにより引き起こされる重篤な急性脳炎で、感染者のうち 100 ~ 1,000 人に 1 人が日本脳炎を発症します。

日本脳炎は症状が現れた時点ですでにウイルスが脳内に達し脳細胞を破壊しているため、発症者の 20 ~ 40 % が亡くなり、生存者の 45 ~ 70 % に精神障害などの後遺症が残ると言われています。

日本脳炎ウイルスに効く薬はないため、予防が最も大事な疾患です。

予防の中心は、ウイルスを媒介する蚊の対策と、日本脳炎ワクチンの接種です。

ワクチン接種により、日本脳炎にかかるリスクを 75 ~ 95 % 減らすことが報告されています。

最近、新型コロナウイルスを懸念し、医療機関の受診控えが起こっているとの記事を見受けます。

残念ながら、他の病原体が待ってくれるわけではありません。

子ども達の予防接種は、スケジュール通りに行なうようにしましょう。

《《《 お願い 》》》

- クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
- お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
- 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっているないか、もう一度確認をして下さい。
- 夜更かしをさせず、早寝・早起きをし、しっかり朝食を摂りましょう。
- 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取組 ☆☆

今の子どもが抱える本質的な課題である「学ぶ意欲」、「自尊感情」、「規範意識」、「体力等」の低下を解決するための一つの施策として、家庭の教育力を高め、基本的生活習慣を確立していくことが必要です。

その 1
幼児期からの生活習慣づくりが大切！

基本的生活習慣（食事、排泄、睡眠、清潔、着脱衣、お手伝い、あいさつ）の形成にあたっては、幼児期からしつけとしてしっかり身に付けさせることができます。

幼児期は、保護者の養育態度が子どもの成長に深く関わり、愛情やしつけを通して子どもの心身の基礎を築く時期であり、その後の人間としての生き方に大きな影響を及ぼすといわれています。

また、せっかく身に付いた生活習慣も、様々な要因によって年齢が上がるにしたがい乱れていく傾向にあります。

したがって、子どもの生活習慣の定着のためには、家庭だけでなく、保育園や地域とも連携協力し、それぞれの教育力を高めながら継続して取り組んでいくことが求められます。



「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

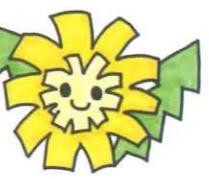
たんぽぽぐみ

0 才児



たんぽぽぐみ

1 才児



すみれぐみ

2 才児



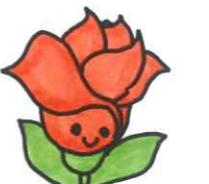
ちゅうりつぶぐみ

3 才児



ばらぐみ

4 才児



ひまわりぐみ

5 才児



全員が登園するようになり 2 か月が経ちました。保護者に抱っこされても両手を広げて身を乗り出して来てくれるようになりました。特に体を動かす事を存分に楽しみ、ハイハイでの移動を主としていた子がつかまり立ち、伝い歩きが出来るようになりました。更には歩行への 1 歩を踏み出し、少しづつ歩けるようになりました。室内を小走りで駆ける子もいて歩行へ向かう姿は大きな成長を見せてくれています。室内にはマットを敷いたり、棚の角にはクッション材を使用したりと環境には配慮していますが、子どもの「今、やってみたい」という気持ちを尊重し見守り関わっているため転んでしまうこともあります。それでも、すぐに立ち上がり「平気だよ」の顔で、またつかまり立ちをし 1 歩を踏み出す子どもたちに逞しさを感じます。

今年は例年より、雨の日や気温が上がらない日が多く、なかなかプール遊びができませんでした。それでも、中旬から下旬にかけて数回、水遊びをしました。いつもと違う雰囲気になかなか遊び始められない子もいます。また、頭から水を被っても平気な子、シャワーに自ら寄ってくる子、顔にかかるのは苦手だけど水遊びは好きな子と様々です。遊び方も、一つのタライの横に座り、その場から動かず、水を汲んではカップに入れることを繰り返したり、色々な場所に移動しながら遊んだり、他の子の遊んでいる姿を見たり、真似したりと千差万別です。職員間で連携しながら、それぞれが自分のペースで楽しんで遊べるようにしています。子ども一人ひとりが、楽しく遊ぶ中で、水の冷たさ、気持ち良さなどを感じられるようかわっていきます。

雨の日がまだ続いているが、暑さも厳しくなり、天気の良い日は、水遊びを楽しんでいます。部屋から、タライやじょうろなど、水遊びの道具が見えると、「水遊びする？」とワクワクした様子です。準備をするときも、着脱など「自分で出来るよ」と意欲的に取り組んでいます。大好きな水遊びが待っている楽しみが、子ども達の「やってみよう」、「頑張ろう」という気持ちを育んでいます。2 才児で、一年間を通じ取り組んでいる課題の一つが、着脱の確立です。水遊びの準備を通じ、成功体験を積み重ね、自信と意欲につなげていきます。ご家庭でも、すべてをやってあげるのではなく、子ども達が自分で頑張っている姿を見守り、出来たときはたくさん褒めてあげてください。大好きなお父さん、お母さんたちの応援が、一番の力になります。ご協力よろしくお願いします。

プール活動や水遊びは子ども達が楽しむ一方、事故のリスクが極めて高い活動でもあります。約束を守らなければ命にも関わる為、子ども自身が安全に行動する力を身につけていく事が重要です。まずは、約束事を「知る」事から取り組みました。その次は、約束事を「守って活動する」という事に取り組みました。年中児期に強く太く育つ「自制心」の芽となる重要な部分です。約束を守って遊びを楽しむ子、気持ちが高まり約束を守れない子と分かれ、危険な行動をとってしまった場合は、活動に参加する事はできません。この場合、何がいけなかったのか自分の行動を振り返ることで、行動の修正に繋がるよう対応しています。いよいよ夏本番です。心も体も強く逞しくなっていくことを目指し、クラスみんなで夏を楽しんでいきます。

梅雨が明け、本格的な夏が始まります。先日、「ボードめくり」という遊びをしました。オセロのように裏表が別の色になっています。ボードの色に合わせた 2 つのグループに分かれ、相手の色のボードをめくり、自分の色にします。色の多い方が勝ちという遊びです。1 回目は全身を動かす事自体が楽しいようで、観声が飛び交いました。2 回目、3 回目と続いていると勝敗に関心が向き始めました。同じチームの子を応援したり、負けると悔しがったり、遊びに熱が入ります。ルールを巡っての批判的な感情が生まれ、他児と衝突する経験は必要な事です。この経験をすることで、ルールを守る事の大切さ、他児の気持ちに気付く心、解決する力などが育ちます。遊びがより一層楽しくなっていくように見守っています。

7 月は水遊び、色水遊び、泡遊び、染め物遊びをしました。色水遊びでは色が変わることに興奮していましたが、色の組み合わせが分かってくると、それをクイズにしたり、薬やシャンプーを開発したりして楽しんでいました。染め物遊びでは障子紙を四角または三角に折り、角に好きな色を染み込ませていき、最後に絞りました。絞るという動作が分からずに戸惑う子もいましたが、絞った紙をワクワクしながらそっと開き「こうなった」、「きれい」と友だちと感動を共有していました。8 月はプール活動に取り組んでいきます。苦手でも挑戦したり、自分なりに目標を立てて取り組んだりすることで心が成長していくことを期待しています。そして、下着や帽子など持ち物がよく入れ替わっています。もう一度名前の記入漏れがないか、ビニール袋も含め確認をお願いします。